

「人や社会、自然と関わりながら自立への基礎を養う」授業

「先生、どんぐりゴマが回ったよ」「もっと速く回すにはどうすればいいかな?」「どんぐりを丸い形のものにすればいいんだよ」

子どもはどんぐりゴマで遊びながら、どんぐりの形に合わせた回し方や軸の立て方を工夫し、何度も作り直しながら納得いくまでコマ作りと向き合います。

生活科の授業では、子どもが、興味・関心を持ち、その価値を感じながら学習活動を行ったり、身近な人々、社会、自然に進んで関わったり、夢や希望を持ち前向きに生活したりするといった自立の基礎を養うことを目標にしています。

そのため、私たち教師は、子どもの思いに沿った単元を構想するとともに、子どもの日常的な活動や体験の中から感じる気付きを大切に授業を心掛ける必要があります。こうした学習を繰り返す中で、気付きの質を高め、生活上必要な習慣や技能の習得、科学的な見方・考え方の基礎の育成、学習への意欲化を図っていきましょう。

ポイント 1

子どもの思いに沿った単元構想で多様な気付きを引き出す

子どもの思いに沿った単元を構想するためには、教師が子どもの興味・関心や生活上の技能、人間関係を十分に把握しておくことが必要です。

右の実践事例「あきともだち」の学習では、教師が事前に遊びを試行し、学習材が持つよさや可能性、関心を持ちそうなことを想定した上で、子どもの思いに沿った単元を構想しています。環境設定においても、子どもが活動に没頭するために、素材や道具の準備をしたり、活動のスペースを十分に確保したりしています。このことにより、子どもが興味を持って活動することができ、素材や遊びに対する新たな気付き、自分や友達のよさや取組のおもしろさ、工夫など、多様な気付きを引き出すことができます。

ポイント 2

人・もの・こととの関わりの中で、気付きの質を高める

生活科の授業で子どもたちは、「どうしたらいいかな?」「こうやったらどうかな?」など、自問自答を繰り返しながら新たな気付きと出会っていきます。特に互いに思いを伝え合う交流活動は、一人一人の気付きの質を高めていく上でも効果があります。

また、交流活動において、一人一人の気付きを全員で共有するとともに、遊び方、場所の使い方など、人・もの・こととの関わりを明確にした話し合いを行えば、学びはより豊かで深いものとなります。生活科では、こうした活動や関わりを通して学ぶことを大切にします。

実践事例(小学校1年生)

単元名 あきともだち

本時の目標 秋のおもちゃ遊びをもっとおもしろくするためにはどうしたらよいか話し合う活動を通して、より楽しい遊び方を考えることができる。(思考・表現)

学習過程 (9/15)

「より楽しい遊び方」を自分なりに考えることが、学習上の自立の「探究心」につながります。

学習活動・子どもの表れ	留意点	支援・評価								
<p>秋のおもちゃ遊びやゲームで遊んでみてどうだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> オナモミダーツが楽しかったよ。また遊んでみたいな。 どんぐりめいろは難しかったから、ゴールができなかったよ。次はがんばりたいな。 どんぐりの大きさや形によって、回り方がちがったよ。丸い方がよく回るよ。 時間がかかって、なかなか順番がまわってこなかったよ。どうすればいいかな。 落ち葉がうまく紙につかないな。なにかいい方法はないかな。 		<p>視点を明確にすることで、話し合いが焦点化され、気付きの質が高まります。</p>								
<p>どうしたらおもちゃ遊びやゲームをもっとおもしろくできるかな。</p> <p>① 視点を意識して、もう一度おもちゃ遊びやゲームを体験する。 ② 気付いたことを伝える。(全体)</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>どんぐりゴマ</th> <th>オナモミダーツ</th> <th>どんぐりめいろ</th> <th>おちばデザイン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> もっといろんな種類のどんぐりがあるといいね。 回す場所を作ればどこかにいかないね。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 的まで遠くて届かなかったよ。 なかなか順番が回ってこなかったよ。 オナモミが人に当たらないように的の場所を変えないといけないね。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな方向に転がって、最後までゴールできなかったよ。 時間を計って競争できるとおもしろいかも。 係の人がルールを分かりやすく教えてくれたよ。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな色の葉っぱがあるといいな。 のりよりもボンドの方がよく付くよ。 作品を展示する場所があるとみんなで見合えるね。 </td> </tr> </tbody> </table>	どんぐりゴマ	オナモミダーツ	どんぐりめいろ	おちばデザイン	<ul style="list-style-type: none"> もっといろんな種類のどんぐりがあるといいね。 回す場所を作ればどこかにいかないね。 	<ul style="list-style-type: none"> 的まで遠くて届かなかったよ。 なかなか順番が回ってこなかったよ。 オナモミが人に当たらないように的の場所を変えないといけないね。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな方向に転がって、最後までゴールできなかったよ。 時間を計って競争できるとおもしろいかも。 係の人がルールを分かりやすく教えてくれたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな色の葉っぱがあるといいな。 のりよりもボンドの方がよく付くよ。 作品を展示する場所があるとみんなで見合えるね。 		
どんぐりゴマ	オナモミダーツ	どんぐりめいろ	おちばデザイン							
<ul style="list-style-type: none"> もっといろんな種類のどんぐりがあるといいね。 回す場所を作ればどこかにいかないね。 	<ul style="list-style-type: none"> 的まで遠くて届かなかったよ。 なかなか順番が回ってこなかったよ。 オナモミが人に当たらないように的の場所を変えないといけないね。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな方向に転がって、最後までゴールできなかったよ。 時間を計って競争できるとおもしろいかも。 係の人がルールを分かりやすく教えてくれたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな色の葉っぱがあるといいな。 のりよりもボンドの方がよく付くよ。 作品を展示する場所があるとみんなで見合えるね。 							

- ③ グループでどこを改良するか話し合う。
- いろんなどんぐりを集めよう。
 - ダーツでは、投げるところに線を引こう。
 - いろいろな落ち葉を集めよう。

(支) コースづくりに着目したAさんには、いろいろな形のどんぐりを示すことで、転がり方の違いについての気付きを引き出す。

内容を整理した板書で、視覚化することにより、自分と友達の考えを比べ、新たな気付きが生まれます。

他者との関わり、互いの気付きに触れ合うことが、次の活動への意欲や期待を高めることにつながります。

《評》試したり話し合ったりしながら、より楽しい遊び方やルールを考えている。【思考・表現】

次の時間でおもちゃ遊びやゲームをパワーアップしよう。